

R4.9.15 議会デジタル化検討小委員会

西内(健)委員長 | それでは時間となりましたので、ただいまから議会デジタル化検討小委員会を開きます。
本日は、議会のデジタル化について御協議願うため、お集まりいただきました。それでは、お手元の協議事項の順に進めてまいりたいので、御協力お願いいたします。

1. 基本方針の策定に向けた方向性について

西内(健)委員長 | 前回の小委員会において、基本方針の策定に向けた方向性及び早期にデジタル環境整備を目指すべきものの2点について、会派に持ち帰り、協議していただくこととしておりました。
まずは各会派から、順次、御発言をお願いいたします。
まずは、自民党から。

西内(健)委員長 | 危機に強い議会ということをあげているわけですがけれども、その辺ですね、横山委員のほうから、南海トラフ地震とかそういったことで我々の会派から出ていましたので、そこを基本方針として。

横山委員 | 危機に強い議会ということで、我々自民党会派としては、進めていっていただきたいなと思っています。

西内(健)委員長 | 続いて、共産党。

米田委員 | うちも、異論はないんですけども、ただ強い議会を作る場合において、今回、ペーパーレス化も言われてるんで、茨城県では試算もされているので、それもちょっと明らかにしてもらいたいというのと、それと茨城県の資料を見よったら、県民に向けても委員会の資料も全部公開できる、ホームページに掲載されている。議会の中で強く県民への情報開示、公開が進むように併せて、セットで考えてもらいたいと思っております。

西内(健)委員長 | ペーパーレス化することによって、かえって情報が共有化できる部分もあろうかと思えますし、その辺は目的の1つとしてうたうことは可能かと思えますので。また検討させていただきます。
続きまして、県民の会。

田所委員 | 県民の会では、危機に強い議会を目指すというところと、まずはスモールスタートでできることをやろうというところは、理解をしております。ただやっぱり、先ほどの米田委員とちょっと重複するかもしれませんが、この項目を見ると我々サイドのことがすごく多いんですね。やっぱり県民にも開かれた議会をこう併せて検討していただきたいということも意見が出ております。以上です。

西内(健)委員長 | 続きまして、一燈立志の会。

大石委員 | 我々も従前から言ってきたとおり、情報公開とか住民参加というのが非常に重

R4.9.15 議会デジタル化検討小委員会

- 要だということに加えて、ここでいう会議等議論の充実と関連しますけど、議会の政策立案能力の向上ということも、デジタル化によって図られる非常に重要な点だと思いますので、そこもまあ、目的のところとうまく入れ込めたらどうかなというふうに思っております。以上です。もちろん、業務の効率化・迅速化というのももちろん重要だなと思っております。以上です。
- 西内(健)委員長 次に、公明党。
- 西森副委員長 新型コロナウイルスまん延の中での危機に強いというのに併せて、防災面での危機ということですね、対応していくことが必要であるということでもありますので、そういった基本方針ですね、進んでいければというふうに思っております。
- 西内(健)委員長 それではですね、さきほどいただいた御意見の中で、やはり県民との情報共有とか、情報提供も含めてそういったところの部分、それから一燈立志の会の政策立案能力の向上といったことも議論も出ました。
ここでですね、御意見いただいたものも踏まえてですね、骨組み案を再度事務局で作成しておりますので、配付させて説明をさせていただきます。
- 吉岡議事課長 基本方針の骨組みのたたき台の修正内容につきまして、御説明いたします。追加資料をご覧ください。前回の小委員会でお示したものに、皆さまの御意見などを踏まえまして、修正したものでございます。
まず1段目でございます。危機に強い議会を目的とした項目でございますが、前回の小委員会で、危機に強いという意味では、本県の場合、背景の中へ南海トラフ地震等の大規模災害や自然災害の文言が必要ではないかとの御意見があり、その文言につきまして追加をしております。
次、2段目でございます。これまでの小委員会において、情報公開や情報共有を目的に加えてはという御意見があり、住民とのコミュニケーション確保という形に目的を修正しております。これを目的と考えた場合、地域の課題解決などに向け、住民との距離を縮めることが必要な機能となり、そのために必要な環境整備として紙が主体となっている資料をデジタル化して積極的に情報公開をしていく必要があるかと思われまます。
次に3段目でございます。政策立案の能力向上や機能強化も重要ではとの御意見もございましたので、前回、目的でお示ししておりました会議等での議論の充実に変えて、政策立案能力の向上として、目的に追加、修正しております。
こうして修正したものを見ますと、全国都道府県議会議長会がまとめた報告書の議会のデジタル化の目的と、行政の高度化への対応や、平時・災害時などに関わらない議会機能の発揮、住民とのコミュニケーションを確保することであるとのまとめとも合致するものとなっております。以上でございます。
- 西内(健)委員長 ただいま、事務局から説明がございましたが、だいたい、先ほどいただいた意見も含まれた内容になっているのじゃないかと思えます。
スモールスタートということを前提にした場合のこの修正案を御協議いただければと思いますが、これに対して、何か御意見ございますでしょうか。

- これで大筋行くような方向で構いませんか。
- (異議なし)
- 西内(健)委員長 それでは次回以降の小委員会では、この案を修正しながら、基本方針を固めていきたいと存じますが、よろしいでしょうか。
- (異議なし)
- 西内(健)委員長 それでは、さよう決めます。
- 2. 早期にデジタル環境整備を目指すべきものについて**
- 西内(健)委員長 次に、早期にデジタル環境整備を目指すべきものについてであります。
御議論いただく中心は、令和5年度以降新たに貸与する情報機器を、引き続きノートパソコンとするか、タブレットに変更するかであります。
これまでの議論では、タブレットとすることで意見はまとまっている、タブレットとする意見が大勢であるかと思いますが、このためですね、令和5年度以降新たに貸与する情報機器をタブレットするという意見で、ほかに御意見がございませんでしょうか。
- 米田委員 一応は、前回も言うたように、いろんな使い勝手だとか政策立案だとか、県民への報告だとかいうのは、そういうパソコンの機能も非常に大事なんで、できたら、ここにある4県だけなんですけど、タブレットとパソコンの両用ということで検討できんかと、その思いがずっとありますね。
- 西内(健)委員長 これに対して、財政的な面も含めて、事務局のほうから御説明というか、再度、ありますでしょうか。
- 吉岡議事課長 資料でお示ししたとおり、4県が併用となっておりますが、うち最低2県はリース切れまでというふうに聞いております。で、実質積極的にやられているのは、東京都とあと1県ぐらいかと思いますが、ちょっと高知県が同じように取り扱うかどうかということは、少し協議が必要かと考えます。
- 米田委員 なお、協議できるところは協議をして、極めて困難ですよとなればね、財政的な問題もあるんで、なお、まあ協議・検討はしてみてください。
- 吉岡議事課長 事務局として財政課と執行部と協議をしていきたいと考えますが、なかなか困難かと考えますので、その辺は、御理解いただきたいと思います。
- 田所委員 細かい話になりますが、たとえばタブレットを私も使ってまして、結構、打ち込みとかそこまで支障はありませんが、パソコンじゃないと困る、結構、量が多いとかですね、検索機能の使い方とか、そういうところあって、タブレットに変えていくのはいいんですけど、例えばどうしても、うちの会派にもおりましたけれども、パ

R4.9.15 議会デジタル化検討小委員会

- ソコンは使いたいときがあると。そうしたら自前のパソコンを持ち込みますよと、必要なときにですね、セキュリティーの問題が出てくると思うんです。それで、僕はマック使ってるんですけども、議会のWi-Fiに繋げないんですよ。セキュリティーの問題で。その辺、なんか、ちょっと整理していただけたらありがたいなと思います。
- 吉岡議事課長 先生方の使い勝手を考えますと、やはりパソコンを使いたいという先生方もいらっしゃるかと思います。事務局としましては、できるだけ使えるようにしたいなと思いますが、何分、おっしゃられたとおりセキュリティーの問題がございます。ちょっとその辺は執行部と協議をしていって、どのような形でできるか検討していきたいとは考えております。
- 西内(健)委員長 ほかに御意見はございませんでしょうか。
- 西内(健)委員長 米田委員、田所委員の御意見もよくわかります。現状のパソコンが使い勝手が悪いというのもありますし、そこをいかに変更するかというのが、今回の小委員会の目的でもあろうかと思います。パソコンを残してっていうのは、一定程度分かるんですが、パソコンもしくはタブレット、田所委員の場合にはすでにタブレットを使っていますよね。
- 田所委員 使ってます。
- 西内(健)委員長 政務活動費で買われたんだと思いますけど、今後タブレットを整備、全員にしたときに、今度はノートパソコンを政務活動費で半額のあれで買うとかそんな形になろうかと思いますけれど、事務局として財政面で、これから財政課と協議はいただくとは思うんですけども、その辺りも理解した上でですね、タブレットの導入ということを今回は、進めていければと思うんですが。
- 田所委員 いいと思います。
- 西森副委員長 委員長が言われたように、パソコンを購入する場合においてもですね、政務活動費で2分の1出せるというルールがありますよね。通信環境においても、例えば政務活動費で構えたパソコンを、Wi-Fiのそういった機器を自分で契約をする、それに関しても2分の1というのは使えるんだろうけれども。思いますので、そういう形の対応っていうのは可能なのかなと思いますけれども、その辺りはどうなんでしょう。通信環境における政務活動費。
- 濱口総務課長 政務活動の関係ですけども、通信環境も利用するのであれば、同じように半分、経費は対象になるかと思います。
- 西森副委員長 通信環境も、半分使えるということですので、それでの対応ってのも可能かとは思いますが。

R4.9.15 議会デジタル化検討小委員会

西内(健)委員長	個人で構えるのか、会派で環境を構えるのかこれはもう。
田所委員	オーケーです。
西内(健)委員長	だいたいタブレットでいこうということが、大勢で構わないかと思うんですが、令和5年以降、新たに貸与する情報機器をタブレットとする大勢の意見を、小委員会の意見とすることによろしいでしょうか。
	(異議なし)
西内(健)委員長	ここで、タブレットとするということで、だいたい決めたということですけど、タブレットの中でですね、Wi-Fiモデルにするのか、データ通信3ギガ程度のもので、Wi-Fiモデルか、それ以外のものにするのかっていうことですけど。外で使えるデータ通信の可能なものにするのか、どちらにするかというところは、御意見ございますでしょうか。
西森副委員長	費用的には、どんな感じになるんでしょうかね。そのWi-Fiモデルから。
西内(健)委員長	900万円が1,400万円くらい。プラス4年間で180万円。外でも活用できる。
横山委員	使う範囲としては、議会棟から持ち出しとかは、そういうのはどうですかね。
西内(健)委員長	持ち出しは構わない。
横山委員	となると、Wi-Fi。
田所委員	セルラー。
西内(健)委員長	Wi-Fiじゃないほう。外で使えるほうのモデルということ。
西森副委員長	Wi-Fiモデルだと、議会棟での活用ということになる。 例えば自宅とかは、Wi-Fi環境があれば、それはそれで使えるということにはなるけれども。
西内(健)委員長	出先だと、Wi-Fi環境がないところだと、Wi-Fi+セルラーのほうであれば使えるということで、こちらのほうが利便性は高い。
大石委員	もちろん、セルラーというか、自前の電波が入ってないと政策調査も何もないので、ぜひ。
西内(健)委員長	じゃ、Wi-Fi+セルラーそちらのモデルということによろしいでしょうか。
大石委員	費用的には、確かに約1,200万円と高く見えますけど、元々現行でいっても700万

- 円かかるんですから、費用的に。上積み400万円ということで、なんとか頑張ってください。
- 西内(健)委員長 その分ペーパーレスで削減できますので。
- 西内(健)委員長 それでは、御協議いただいたWi-Fi+セルラーモデルということで、決したいと思います。
- (異議なし)
- 西内(健)委員長 では、事務局はタブレットへの変更により必要となる周辺設備の変更についてのまた検討もよろしくお願ひしたいと思ひます。

3. 議会運営委員会への報告について

- 西内(健)委員長 次に、議会運営委員会への報告についてであります。
- 間もなく、令和5年度当初予算の編成作業が始まります。先ほどお決めいただいた、早期にデジタル環境整備を目指すものについて、早期に議会として決定しなければ、この作業に間に合わなくなります。議会決定とするためには、議運本体で協議決定する必要があります。
- つきましては、9月定例会中の議運で、これまでの小委員会での議論を中間報告とさせていただき、早期に整備すべき情報機器については決定していただくよう、議運の委員長に申し入れたいと存じますが、御異議ございませんでしょうか。
- (異議なし)
- 西内(健)委員長 それでは、さよう決します。

4. その他

(1) 次回の小委員会の開催日程

- 西内(健)委員長 次に、次回の小委員会の開催日程についてであります。
- 次回の小委員会では、議運への最終報告に向け、基本方針の策定などについて御協議を願ひたいと考えます。
- 開催日につきましては、9月定例会閉会後の10月中旬以降に開催してはと考えますが、決算特別委員会の開催などもございますので、正副委員長で調整の上、事務局から連絡するようにいたしますので、御了承願ひます。

(2) その他

- 西内(健)委員長 最後にその他であります。その他で何か御意見ございますでしょうか。
- (なし)
- 西内(健)委員長 それでは協議事項は以上でございます。
- 以上で本日の議会デジタル化検討小委員会を終わります。御協力ありがとうございました。